**屋島ケーブルカー**

日本最古のケーブルカーのひとつである屋島ケーブルカーは、1929年に開業した。屋島の麓から屋島寺や獅子の霊巌まで、巡礼者や観光客を運ぶために作られたこのケーブルカーは、当時、屋島で唯一の公共交通機関だった。第二次世界大戦中の1944年には運行が停止し、線路の一部も撤去された。1950年には再開されたが、屋島で自動車用の舗装道路が開通すると、ケーブルカーの利用者は減少。2004年には再び運行を停止し、2005年には廃線となった。

南嶺の山上駅と下の駅（大宮八幡神社付近）、線路、ケーブルカー2両はそのまま残され、往時の姿をとどめている。下の駅には2台のケーブルカーが停まっている。山上駅の建物は、ケーブルカーの歴史を感じさせるアールデコ調のファサードで、ゆっくりと包み込む大自然とのコントラストを見せている。